



日本共産党荒川区議団 2025年10月5日 NO.239

北村 あや子 区政ニュース

プレミアム商品券 11月15日から2倍額を販売

商店街の活性化対策の一つとして、2009年から発行されている共通お買物券。荒川区は荒川区商店連合会のお買物券事業のプレミアム分と事務費を支援しています。

9月16日の総務企画委員会では、今年のプレミアムお買物券の発行を11月15日販売開始に2週間前倒して、発行額も2倍にするとの報告がありました。

依然と同じように販売額1万円で1万2千円分(プレミアム率20%)のお買物券が購入でき、一人3冊まで購入可能です。荒川健康アプリ「あらチャレ」協力店で商品券を使うと健康ポイント付与の仕組みを創設されます。

プレミアムお買物券発行開始から16年、発行総額31億円以上、区が支出したプレミアムと事務費は総額約4億7千万円。一方で商店の減少は止まりません。お買物券以外にも商店街・個店への支援が求められます。

財源は「融資補助」などからの流用…それでいいの？

2倍になったため総事業費は、約6千万円弱、当初予算に3千万円以上の上乗せです。その財源は、今年度の中小企業向け斡旋融資の利子や信用保証料の補助金を回したようです。

今年度の区内事業者の資金繰りはどうなっているのでしょうか。区の斡旋融資の件数が大きく減っていると

すれば、それこそ大きな問題です。本来なら、今年度の決算剰余金の一部を事業に充てるべきです。

運転、設備含めた区の斡旋融資の拡大は、区内産業振興の先行きにも影響するのではないのでしょうか。執行率が少ないからと安易に融資の予算を横流して良いのか…。区の産業振興への姿勢が問われます。



都シルバーパス 12,000円購入の方への区助成



都内路線バスと都営交通(都バス、都営地下鉄、都電、日舎ライナー)が利用できるシルバーパス。所得に応じて①1000円、②12000円。②の方が申請すれば区が銀行口座に11000円振込みます。実質千円で購入できます。

区役所や区民事務所、ふれあい館等に置いてある申請書に必要な事項を記載して12000円の領収書、領収書がない場合はシルバーパス表裏のコピーを添えて郵送してください。オンライン申請も出来ます。詳細は区報や区のホームページ(QRコード)でご確認ください。



【問合せ】高齢者福祉課 電話番号:03-3802-3111(代表) シルバーパス購入費助成担当 内線 3776



日時: 10月17日(金) 18:30~20:00 会場: 北村あや子事務所
TEL&FAX: 03-3894-6668 要予約 ☆☆ 生活相談はいつでもどうぞ ☆☆

発行: 日本共産党議員団 TEL: 3802-4627 FAX: 3806-9246 e-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所>

荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX: 3894-6668



プラスチック資源回収が 10 月から始まりました

今月からプラスチック資源回収が全区でスタート。区からのお知らせが全戸配布されています。出し方や回収日など、QRコードから区のホームページをご確認ください。

＜尾久地域のプラスチック回収日＞

月曜日：西尾久1, 2丁目、3 丁目21～26番、4～8丁目、東尾久4, 5丁目

木曜日：西尾久 3 丁目1～20番



消費者・住民だけに責任を負わせない仕組みづくりを

資源回収もちろん大切ですが、そもそも石油由来の製品、プラスチック利用総量を減らすことが気候変動を食い止める最重要課題です。拡大生産者責任、リサイクルを前提とした製品デザイン、サブスクやリースなど新しい「モノの使い方」。環境にやさしい製品開発への新たな支援をおこなうなど、消費者・住民だけに責任を負わせない仕組みづくりについて、本会議で取り上げました。

区役所から出るプラは“不燃ごみ”のまま

一事業所としての「荒川区」から排出されるプラスチックは「事業系ごみ」として、これまで通り不燃ごみとして扱われるということです。事業系と家庭系のごみ扱われる法律が違うこと、引き受ける中間処理施設が少ないことなどの課題がありますが、荒川区のゼロエミ推進のためにも、事業所として「荒川区」もプラ回収できるよう検討することを求めました。区が率先して見本を示してほしいものです。

ワクチン定期接種 インフル無料化・コロナ 2,500 円

10 月からインフルエンザと新型コロナのワクチン定期接種が開始。対象は 65 歳以上の方・障害のある方などで、9月 30 日（火）から順次、予診票が送付されます。

区民の要望が実現

インフルエンザワクチンの定期接種の費用は、昨年度 65～74 歳が 2,500 円・75 歳以上無料でしたが、今年度から 65 歳以上と子ども（0～15 歳）の接種が無料化されます。区民の要望が実現しました。

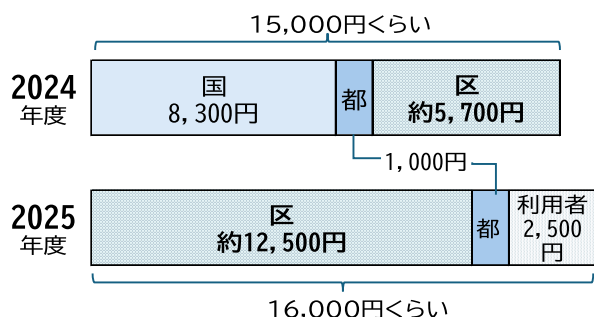
★今冬のワクチン定期接種

	インフルエンザ	新型コロナ
期間	来年1/31まで	来年3/31まで
対象	①接種日に65歳以上の方 ②60～64歳で内部機能障害や 身体障害者手帳1級の方など	
自己負担	無料	2,500円 ※75歳以上は無料

コロナワクチン国が補助終了

新型コロナワクチン接種費用は 1.5 万円以上と高額になるため、昨年度は定期接種で国 8,300 円・都 1,000 円・残りを区が助成して無料化を実施。今年度は国が補助を廃止し、定期接種でも自己負担をもとめる自治体が増えています。荒川区も、75 歳以上は無料ですが 65～74 歳は自己負担 2,500 円に。23 区でも多くが 65～74 歳は自己負担 2,500 円です。任意接種の場合は助成はなく、さらに大変。

＜コロナワクチン接種費用の負担割合＞



重症化防止に国の支援を

昨年度の新型コロナワクチン接種率は 65 歳以上で都 54.4%・区 56%と5割を超えていますが、有料化で接種率が低下する心配も。ワクチンと早めの受診で重症化を防ぐため、自治体任せではなく国・都の支援が必要です。

23区の新型コロナワクチン定期接種の助成状況（9/22時点）

無料	5区	渋谷、葛飾、足立、港、千代田
自己負担 2,500円	16区	72歳以上無料 … 1区 北 75歳以上無料 … 5区 荒川、江東、墨田、中央、江戸川 一律2,500円 … 10区 その他
未公表	2区	台東、新宿